



## 高知市教育研究所研究員研究発表会(終了式)のご案内

今年度一年間それぞれの研究テーマを深めるために取り組んでこられた、平成24年度高知市教育研究所研究員(27名)のみなさんの研究発表会(終了式)を行います。

明日からの実践に役立つ研究発表がたくさんありますので、ぜひ発表会にご参加くださいますよう、ご案内いたします。

★ 日時：平成25年2月8日(金)14:00～17:00(受付13:30～)

★ 場所：アスパルこうち4階ホール

- 1 開会のことば
- 2 教育長あいさつ
- 3 来賓紹介
- 4 研究発表 (基本一人5分 ※はグループ発表10分)



NO	研究領域	氏名(所属)	時間	研究テーマ
1	教育課程 (教育相談) 領域 (小学校)	清遠 咲織 研究員(潮江小)	14:15～	※「あったかアンケート(小学校用)」に関する研究
		一園 典子 研究員(潮江東小)		
2	(中学校)	渡邊 拓哉 研究員(朝倉第二小)	14:40～	※「あったかアンケート」を活用し、 学校が取り組んだ教育実践を実証的に検討する
		岡林 宏枝 研究員(介良潮見台小)		
		松下 整 研究員(城北中)		
3	教育課程(防 災教育)領域	黒瀬 絹江 研究員(西部中)	14:40～	南海地震に備えた防災学習について 防災教育の実践事例の研究
4		野中 史子 研究員(青柳中)		
5	授業研究 (授業改善) 領域	山崎 秀忠 研究員(三里小)	14:55～	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた 国語科授業のあり方を探る ～分かる・できる・ともに学ぶ国語科の授業づくり～ 表現する楽しさを味わう子の育成 ～小学校におけるデジタル教材の活用に関する研究～
6		宇田 京子 研究員(小高坂小)		
7	授業研究 (教科研究) 領域	上平田健一 研究員(神田小)	14:55～	～小学校におけるデジタル教材の活用に関する研究～ 小学校における体育環境と体力の関連に関する研究 ノート指導を通じた言語活動の充実 生徒の心に響く道徳教育
8		山崎 功一 研究員(初月小)		
9		高石 昌諭 研究員(朝倉第二小)		
10	教育課程(外 国語・外国語 活動)領域	掛水ひとみ 研究員(横浜中)	15:30～	※小学校外国語活動から中学校英語教育への 円滑な移行をめざして ～中学校1年生の入門期の指導のあり方を考える～
11		竹崎 優子 研究員(旭中)		
12	情報研究 (ICTの活用) 領域	佃 由紀子 研究員(新堀小)	15:55～	ICTを活用した「国語科・算数科」の 効果的な授業づくり ICT機器を効果的に使った授業づくり
13		上岡 真理 研究員(三里中)		
14	学校事務 領域	柏井 吉人 研究員(第六小)	16:10～	※学びを支援する学校事務 —新体制での取組を考える—
15		山下 幾世 研究員(南海中)		
16	人権教育 領域	小松真由美 研究員(春野中)	16:25～	新しい地域教材(人権)の開発 朝倉中学校の人権総合教育の歩み
17		梅原誠一郎 研究員(一宮小)		
18		土井 一史 研究員(朝倉中)		
19	特別支援 教育領域	谷 雄二 研究員(鴨田小)	16:40～	※領域・教科を合わせた指導の充実 ～生活単元学習事例集の作成を通して～ 障がいのある子どもと 子どもを取り巻く家庭への支援のあり方を考える
20		合田真理子 研究員(青柳中)		
21		岡林 浩祐 研究員(市立養護)		
22		笹岡 大 研究員(ひまわり園)		

※ 時間はあくまで目安ですので、前後する場合がありますが、ご了承ください。

発表はお聞きになりたい発表だけを聞いていただくことができます。

- 5 閉会のことば

研究所キャラクターを  
紹介します！

すばらしい  
発表が  
いっぱいです。



ケンちゃん



キューくん



パルちゃん

たくさん来て  
くださいね。

## No.5

### チーム協働研修Ⅱ（初任者研修、10年経験者研修合同開催）

10年経験者と初任者がグループに分かれて、「授業づくり」「言語活動の充実」について、実践発表や助言、協議・成果物の発表を行いました。

チーム協働研修Ⅱについて、初任者から出た質問に10年経験者の先生が指導・助言してくれている記述が参考になりました。他の初任者も自分と同じようなことを考え悩んでいることも分かりました。そして、研修の中で10年経験者に聞くことのできなかった質問もあり、その回答を見て、今後の指導に活かしていきたいと思いました。

また、「言語活動を充実させるための基本的な考え方とポイント」を見て、改めて研修で学習したことを確認することができ、国語の授業だけでなく、全ての教科や領域において言語活動を取り入れ、授業を活性化させていきたいと思えます。

小学校教諭 女性

私が参加した研修でしたが、後日、研修便りを見て、改めて自分が学んだ内容をしっかり把握することができました。

2学期、夏休みに学んだことを実践する日々ですが、言語活動を効果的に仕組んでいたり、その内容にまだまだ深みがなかったりして、実践していくことの難しさも感じています。

残りの2学期もしっかり取り組んでいきたいと思えます。いつもありがとうございます。

小学校教諭 女性

私は、本研修便りを読んで、10年経験の先生方とのワークショップで、言語活動の充実についてどのような手立てや工夫をしていくのが有効なのか考えていったことを思い出しました。

言語活動というのは、大変幅広く、どの教科でも様々な形で行われる活動ですが、子どもたちにとって今後の生活を送っていく上で、必要不可欠な力となっていきます。私はこの研修から、子どもが何かを伝え表現したり、コミュニケーションをとったりする活動を毎回大切にしていきたいと感じました。

そのためには、教師側からの手立て、指導も重要となってきます。私は、子どもたちが「言いたい」と思えるような魅力的な授業を展開していきたいです。

小学校教諭 男性

言語活動の充実を図るワークショップでは、10年経験者から具体的なアドバイスをいただき、漠然としていた考えが明確になりました。たくさんのご気づきを、私の学級経営に活かしていきます。

小学校教諭 男性

## No.10

### 第1回道徳教育研修会

「道徳の時間の指導の充実」と題した講話を聞き、その後グループに分かれて演習(学習指導案の作成)を行いました。

道徳の授業研を11月はじめに行いましたが、授業を始めるにあたって、子どもの思いや感じたことをどう引き出すか、発問内容や仕方について悩んでいました。その時目にしたのが、研修便りNo.10の「道徳の時間の指導の充実」でした。発問の仕方、子どもの答えが違ってくることや展開が大きく変わること、書いてあることを尋ねるのは、発問ではなく「確認」であることが分かり、自分の考えた発問を見直すことができました。また、正解・不正解のない授業では、子どもの考えに対し、「そうですね」よりも「なるほどね」がなじむとあり、これまで自分がどう反応していたか意識していなかったので分かりませんが、「なるほどね」を意識することができました。

授業づくりのポイントを分かりやすくまとめてくださっており、とても参考・勉強になりました。

小学校教諭 女性

「第1回道徳教育研修会の内容」は、初任者研修の道徳の授業をする際にとっても参考になりました。中心発問の教師側の捉え方や、構造的な板書など、授業づくりの7つのポイントを振り返ることができました。特に、子どもの意見に共感的に整理する姿勢も、この研修便りを見て取り組んだからこそできたと感じました。

小学校教諭 男性



## No.12

### 4年経験者研修「人権教育研修」

人権教育の在り方について理解を深め、教科や領域の授業における人権学習指導案を作成しました。

担任をしている中で道徳の授業をどのように実施するかいつも迷います。

人権が尊重される環境づくりは是非学びたいです。

社会科等の各教科と人権教育との関連を考えてみたい。自分の科目の数学だとどう関連させられるかはまだまだ模索中ですが、研修等に参加して学んでいきたいです。

中学校教諭 男性



お便りを読み、人権教育は道徳の時間に限らず、教育活動全体を通じて行わなければならないということを確認することができました。

本校の4年経験者研修をしている先生は、総合の「愛宕商店街活性化プロジェクト」の中に人権課題を盛り込んで取り組んでいます。例えば、「高齢者の目線になった商店街づくり」等がありますが、いつも教師が生徒に求めているものを引き出せるように工夫されています。

力不足で他の先生方に迷惑をかけることばかりですが、これからも研修や実践、先輩の先生方から多くを学び、様々な教育活動に対応できる教員になりたいと思えます。

今後ともよろしくお願い致します。

中学校教諭 女性